

Genius English Writing Revised

厳選されたモデルでこそ 英作文の力は身につく

塾・予備校・高校講師
竹岡広信



東京大学や京都大学を受験する学生の英作文を採点していると愕然とすることがある。とにかく基本的なミスが多すぎる。People is [○are]…, He have [○has]…, come back Japan [○to Japan], one of the most important thing [○things]…など。成績が上位者でもこのような状態だから、あとは推して知るべしである。また、「仕事は人生最大の遊びであり、仕事で楽しめる人は幸福である。」[宮城大学入試問題, 2010] を作文させてみると、日本語に引きずられて、前半を Work is the greatest play [○pleasure]. としてしまう者も相当多い。このような状況下での writing の指導とは「基本の徹底」につきると思われる。「英文解釈のレベル」なら簡単だと思えるものでも、作文となるとそうはいかない。そこで、Genius English Writing Revised (以下 Genius Writing) を拝読し、その「どこにこだわりを感じたか」と「私ならこう使う」の2点を述べたいと思う。

◆ 1つの物語を形成している構成

Part 1 の Unit 1～3 では、各 Lesson が、純子とブライアンの二人を中心に据えた英文から始まる。そしてそれが、Lesson 1 から24まで、ストーリー仕立てになっていて、まるで1つの物語のように話が展開していくため興味深い。また、それぞれの英文形式も、Eメール、留学志望願書、日記、礼状、電話など多岐にわたり、英語の様々な形式に触れることができる。高校生にとっても身近な話題だけに、「自分も書いてみたい」

という意欲を向上させる英文だと思われる。

たとえば Lesson 22 に登場する礼状は以下のような文面である。

ジョンストンご夫妻へ

昨夜は素晴らしいさよならパーティーを本当にどうもありがとうございました。楽しかったばかりでなく、思い出に残るものとなりました。私があなた方に対してどんなに感謝しているかは言葉では言い尽くせません。

私は明日ここを立ちます。あなた方のご親切は決して忘れません。横浜かシアトルでまたお会いできることを願っております。日本に帰ったらブライアンにあなた方からの伝言を必ずお伝えします。

敬具

純子

Dear Mr. and Mrs. Johnston,

Thank you very much for the wonderful farewell party last night. It was not only enjoyable but also memorable, and I just can't tell you how grateful I am to you.

I'm leaving here tomorrow. I'll never forget your kindness. I hope we can meet again either in Yokohama or in Seattle. I'll be sure to give your message to Brian when I get back to Japan.

Sincerely yours,

Junko

無理のない平易でかつ自然な英語で書かれているので、各 Lesson の巻頭の英文を全文「音読筆写」させて暗記させてしまうのが効果的であろう。このようなレベルの英文は、読解の観点から



は何でもないように思えても、いざ発話したり作文したりすると、きっちり運用できる高校生は少ない。「ネイティブがよく使うカッコイイ表現」や「使用頻度の低い受験によく出る表現」などを追いかけても、英語を運用できるようにはならない。この教科書のような英文モデルこそ徹底的にマスターしたい。

◆基本例文の工夫と厳選

英作文の訓練は、一見平易に見える英文を徹底的に訓練することで身につくものである。*Genius Writing* の Study Points や Exercises に散りばめられている英文は、英作文の急所になっているものも多い。以下に実際の例を挙げて検証してみたい。また、それぞれに文法説明があるが、出しゃばらない程度で、本当に大切な事項に絞ってあるのがよい。(特に注がないものは全て Part 1 からの抜粋。)

[Lesson 1] あの店では高い服を売っています。

→ They sell expensive clothes at that store.

この日本語で They を主語にできる高校生は実力十分。

[Lesson 2] 彼らはいつ戻ってくるのか私に言いませんでした。

→ They didn't tell me when they would return.
簡単そうだが、語順と時制の一致をクリアできればたいしたもの。

[Lesson 8] いい映画だよ。見たほうがいい。

→ It's a great movie. You should see it.

「いい」は、good では弱い場合がある。また忠告は should で表すのが普通。

[Lesson 18] その店は買い物客が子どもを預けておくことができる部屋があります。

→ The store has a room where shoppers can leave their children.

[同上] 私は今でも彼らが結婚した日のことを覚えています。

→ I still remember the day when they got

married.

先行詞につく冠詞の識別を確認するのによい。

眺めているだけでは、それぞれの英文の良さは分かりにくいと思われる。例文や Exercises を小テストの形式で英作文させてみて、その場で教科書で確認させるというのが面白そうである。

◆パラグラフ・ライティングの基本をステップバイステップで指導

Part 2 ではパラグラフ・ライティングの基本を様々な素材をもとに書かせるように構成してある。題材は「尊敬する人」「忘れられない経験」「品物の説明」「修学旅行の是非」「男女平等について」など、奇をてらわない、馴染みのある題材で生徒も書きやすそうである。しかもたとえば Lesson 4 では以下のような誘導がしてあり、自然と書き方を身につける工夫がしてある。最初は、何から書いていいか分からないという生徒が多いことを考えると親切な誘導であろう。

1. Is there anybody you admire?

2. If so, who?

If not, write about someone you like.

3. What does the person look like?

4. What is the person like?

5. Why do you admire / like that person?

◆まとめに

Genius Writing の素晴らしさは、以上に述べた通りである。しかし、この本の良さを最大限に引き出すのはもちろん現場の教師である。たとえば、この本を用いて生徒にエッセイを書かせた場合、それをしっかり採点するという重労働を経ないと生徒の力を伸ばすことはできない。通り一遍のクラス授業だけでは、この本を苦心して作られた執筆者の先生方にも申し訳が立たない。皆で頑張りたいものである。

(たけおか ひろのぶ・

竹岡塾／駿台予備学校／洛南高等学校講師)